

# 事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年3月6日更新

事務事業名		消防施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト		<input type="checkbox"/> 全庁横断		集中改革	
						<input type="checkbox"/> 関連		<input type="checkbox"/> 課題関連		<input type="checkbox"/> プラン関連	
総合 計画 体系	政策 施策 施策の柱	1 1 1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり 危機管理・防災対策の推進 災害の未然防止対策	まちづくり 危機管理・防災対策 未然防止対策	所属部 所属課 所属班	総務部 総務課 交通防災班	課長名 担当者名 (内線)	財津公正 白濱裕 1213			
予算科目	会計 一般	款 9	項 1	目 3	事業連番 10009	根拠 法令	消防法		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果	⑤ ⑤	
終了、開始年度			<input type="checkbox"/> 27年度で終了	<input type="checkbox"/> 27年度から開始	事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 ～ 年度)	18	年度
								<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(	～	年度)

## ★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・設置している消火栓、防火水槽、ホース格納庫、標識等の修繕、取替えを行う。 ・消防水利の設置及び区が設置した消防水利が市に移管されてからの管理。
【業務の流れ】	・消防団、消防署及び区等からの連絡において現地確認を行う。業者への発注、検査、支払い。
【主な予算費目】	・需用費
【意見や要望】	・土地所有者から、個人の宅地に設置している消防水利を撤去して欲しいとの要望が増えつつある。

## 1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・老朽化している防火水槽の修繕	・老朽化している防火水槽の修繕及び撤去工事を行ない、施設の維持管理に努め、有事に備える。
・防火水槽撤去工事	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)予算の主な増減の理由
ア:修繕を行った消防施設の箇所数	箇所 ・修繕箇所の増加による
イ:	
②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)箇所
ア:市内の消防水利数	箇所 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)箇所
・災害時に使用ができるよう、適正な状態を保つ。	ア:修繕が必要となった消防施設の箇所数 イ:
※③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
・災害時に適切な状態を保つ為、防火水槽及び補水管・消火栓の修繕を行う。	0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
① 活動指標	ア:箇所 イ:		5	6	5	9	5	5	5	5	0
② 対象指標	ア:箇所 イ:		824	825	826	826	827	828	829	829	0
③ 成果指標	ア:箇所 イ:		5	6	5	9	5	5	5	5	0
投 入 量	事 業 費 事 業 費 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円								
		(A) 事業費計	千円	2,156	10,331	1,100	2,984	2,600	4,000	4,000	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	5 220	0 0	4 190	0 0	4 190	4 190	4 190	0
		(B)人件費計	千円	876	0	756	0	756	756	756	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,032	10,331	1,856	2,984	3,356	4,756	4,756	0

事務事業名	消防施設維持管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (C H E C K)

\* 原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因 ↗】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ↗】 ・消防団、消防署等と連携を密にし迅速に対応する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由 ↗】 ・消防団、地域での維持管理を適切に行うことで、修繕の件数が減り、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) □統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 ↗】 □統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由 ↗】 ・他に類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 ・修繕のみについての経費であり、削減の余地はない
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 ・修繕に対応するための事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由 ↗】 ・市内全域にわたる消防水利の修繕に要する経費であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由 ↗】 ・消防水利の維持管理は、法に基づく市の役割であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (C H E C K)

- ・消防団、消防署等が行った水利の修繕箇所を適正に修理できた。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止
- 休止
- 目的再設定
- 事業統廃合・連携
- 事業のやり方改善（有効性改善）
- 事業のやり方改善（効率性改善）
- 事業のやり方改善（公平性改善）
- 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成績	向上	コスト		
		削減	維持	増加
維持				
低下				

### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策